

1. 呼吸機能検査で混合性障害に分類されるのはどれか。

- a %肺活量 95% 1 秒率 45%
- b %肺活量 85% 1 秒率 55%
- c %肺活量 80% 1 秒率 70%
- d %肺活量 65% 1 秒率 75%
- e %肺活量 55% 1 秒率 85%

正解 : c

2. 胎児心拍数陣痛図 (CTG : cardiotocogram) について正しいのはどれか。

- (1) 胎児心拍数基線の正常脈は 110~160 bpm である。
 - (2) 遅発一過性徐脈は胎児機能不全を示す。
 - (3) 早発一過性徐脈は子宮収縮に伴って生じる。
 - (4) 一過性頻脈は胎児アシドーシスの指標である。
 - (5) 基線細変動の減少・消失は胎児アルカローシスの指標である。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

3. かぜスコアの項目に含まれるものはどれか。

- (1) 嘔吐
 - (2) 鼻水
 - (3) 咽頭発赤
 - (4) CRP 上昇
 - (5) 発熱 (乳児 37.0℃以上)
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

4. 吸入麻酔薬の特徴について正しいのはどれか。

- (1) デスフルランはほとんど代謝されない。
 - (2) デスフルランには気道刺激性がある。
 - (3) イソフルランには気道刺激性がない。
 - (4) セボフルランには気管支痙攣作用がある。
 - (5) セボフルランは小児の緩徐導入に適している。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

5. 正しいのはどれか。

- (1) フェンタニルはナロキソンで拮抗できる。
 - (2) ミダゾラムはフルマゼニルで拮抗できる。
 - (3) チオペンタールは喘息患者に安全に使用できる。
 - (4) プロポフォール用の TCI ポンプには性別を入力する。
 - (5) プロポフォールは注入開始後 12 時間以内に交換する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

6. 輸血用血液製剤について正しいのはどれか。

- (1) 全血製剤は 20～24℃で保管する。
 - (2) 赤血球濃厚液は 2～6℃で保管する。
 - (3) 血小板濃厚液は 20～24℃で保管する。
 - (4) 新鮮凍結血漿は -20℃以下で保管する。
 - (5) 新鮮凍結血漿は 40℃以上で解凍する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : d

7. 日本麻酔科学会「術前絶飲食ガイドライン」の推奨事項はどれか。

- (1) 術前 2 時間までは清澄水を与えることができる。
 - (2) 術前 4 時間までは母乳を与えることができる。
 - (3) 術前 4 時間までは牛乳を与えることができる。
 - (4) 術前 5 時間までは人工乳を与えることができる。
 - (5) 術前 6 時間までは通常の食事を与えることができる。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解 : a

8. 深部静脈血栓症について正しいのはどれか。

- (1) 早期離床は予防の基本である。
 - (2) 好発部位として下肢ヒラメ静脈がある。
 - (3) 予防に保険適用がある薬剤はヘパリンのみである。
 - (4) 弾性ストッキングと間欠的空気圧迫装置の予防効果は同等である。
 - (5) 予防のためのリスク評価は全ての周術期患者で行うことが望ましい。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

9. 術前内服薬について正しいのはどれか。

- (1) 血糖降下薬は手術当日は休薬する。
- (2) スタチン系薬剤は手術当日も継続する。
- (3) ハーブやサプリメントの服用も確認する。
- (4) 向精神薬は術前 2~3 週間前から休薬する。
- (5) すべての降圧薬は手術当日の朝まで継続する。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

10. ERAS について正しいのはどれか。

- (1) 短時間作用型の麻酔薬を使用する。
- (2) 医師主導の周術期プログラムである。
- (3) 新しい薬剤の導入をめざしたプログラムである。
- (4) 硬膜外麻酔は術後鎮痛方法として推奨されている。
- (5) 術後疼痛管理・早期離床・早期経口摂取が 3 つの柱である。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : c

11. 吸入麻酔薬について正しいのはどれか。

- (1) セボフルランは気道刺激性が少ない。
- (2) セボフルランの術後肝障害は稀である。
- (3) デスフルランの気化器は電源が必要である。
- (4) デスフルランはセボフルランより覚醒が遅い。
- (5) デスフルランの IMAC はセボフルランより低い。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

12. プロポフォールについて正しいのはどれか。

- (1) 注入時痛がある。
- (2) 術後悪心・嘔吐が少ない。
- (3) 気管支喘息には禁忌である。
- (4) 小児麻酔での使用は禁忌である。
- (5) 卵アレルギーでは避けるべきである。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

13. 全身麻酔中の循環管理について正しいのはどれか。
- (1) 小児では成人よりも心拍数を高めにする。
 - (2) 脳梗塞患者では低二酸化炭素血症とする。
 - (3) 脳梗塞患者では収縮期血圧を低めにする。
 - (4) 冠動脈疾患患者では拡張期血圧を低めにする。
 - (5) 陳旧性心筋梗塞患者は過剰輸液に対する耐容能が低い。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解 : b

14. 全身麻酔時に使用する装置について正しいのはどれか。
- (1) 人工鼻は死腔を増やす一因となる。
 - (2) Jackson-Rees 回路は非再呼吸式回路である。
 - (3) 二酸化炭素吸収剤が変色すると交換の目安となる。
 - (4) 半閉鎖循環式回路では二酸化炭素吸収装置は使用しない。
 - (5) 半閉鎖循環式回路では呼気ガスモニターの信頼性が低下する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

15. 正しいのはどれか。
- (1) 呼気終末陽圧は酸素化を改善する。
 - (2) 圧補助換気は自発呼吸が必要である。
 - (3) 換気血流不均衡分布は低酸素血症の原因となる。
 - (4) 従量式調節呼吸の 1 回換気量はエアリークに影響されない。
 - (5) 従圧式調節呼吸の 1 回換気量は肺コンプライアンスに影響されない。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

16. 正しいのはどれか。
- a 重炭酸リンゲル液は酢酸を含有する。
 - b 維持液は膠質浸透圧活性を有する分子を含有する。
 - c 生理食塩水では 140 mEq/L のナトリウムとクロールを含有する。
 - d 5% アルブミン製剤は低アルブミン血症の治療に使用することができる。
 - e ヒドロキシエチルデンプン製剤は膠質浸透圧活性を有する分子を含有する。

正解 : e

17. 周術期の輸血療法について誤っているのはどれか。
- a 手術前に不規則抗体の有無を確認した。
 - b 微小凝血塊除去用フィルターを使用した。
 - c 血管透過性亢進によって輸血関連循環負荷が生じた。
 - d 輸血後 6 時間以内に輸血関連急性肺傷害が発症した。
 - e 輸血に伴う副作用の有無やその内容を記録した。

正解 : c

18. 全身麻酔からの覚醒について正しいのはどれか。
- (1) オピオイドは全身麻酔からの覚醒に影響する。
 - (2) 新鮮ガス流量は吸入麻酔薬の排泄に影響しない。
 - (3) 呼びかけに反応すれば呼吸回数は少なくとも抜管できる。
 - (4) 抜管する前にあらかじめ高濃度酸素を十分吸入させておく。
 - (5) 神経刺激装置を用い非脱分極性筋弛緩薬の残存効果を確認する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : c

19. 気管挿管下全身麻酔中に生じた気管支痙攣について正しいのはどれか。
- (1) アナフィラキシーショックが原因になる。
 - (2) 1 回換気量が一過性に増加する。
 - (3) 気道内圧が一過性に低下する。
 - (4) 速やかに麻酔深度を深くする。
 - (5) 気管支拡張薬を投与する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : c

20. アナフィラキシーショックについて、誤っているのはどれか。
- a 喉頭浮腫を生じる。
 - b 皮疹の有無を確認する。
 - c 筋弛緩薬が原因になる。
 - d 治療にはアドレナリンを投与する。
 - e 副腎皮質ステロイド薬は無効である。

正解 : e

21. 全身麻酔中に心室細動を認めた場合、まず行うことはどれか。

- (1) 胸骨圧迫
- (2) 応援の要請
- (3) 同期的除細動
- (4) リドカインの投与
- (5) 緊急カートの準備

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

22. 術中低血圧の原因と機序の正しい組み合わせはどれか。

- (1) 深麻酔……………心機能の低下
- (2) 腸管牽引……………心機能の低下
- (3) 気腹……………末梢血管抵抗の減少
- (4) 出血……………循環血液量の減少
- (5) 術前の脱水……………循環血液量の減少

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : c

23. PEA（無脈性電気活動）の原因として正しいのはどれか。

- (1) 低血糖症
- (2) 低酸素血症
- (3) 緊張性気胸
- (4) アルカローシス
- (5) 高カルシウム血症

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

24. 喉頭痙攣について正しいのはどれか。

- (1) 小児に起こりやすい。
- (2) 陰圧性肺水腫を生じる。
- (3) 経鼻エアウェイにより解除できる。
- (4) 筋弛緩薬の投与は状況を悪化させる。
- (5) 半覚醒状態での咽頭への刺激で起こりやすい。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

25. ダメージコントロール手術を検討すべき所見はどれか。

- (1) pH 7.15
 - (2) BE-18 mM
 - (3) aPTT 40 秒
 - (4) 体温 35.7°C
 - (5) PT-INR 3.0
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

26. 心筋虚血時の変化が現れる順序として正しいのはどれか。

- a 心電図異常……心筋壁運動異常……胸痛
- b 心電図異常……胸痛……心筋壁運動異常
- c 胸痛……心電図異常……心筋壁運動異常
- d 心筋壁運動異常……心電図異常……胸痛
- e 心筋壁運動異常……胸痛……心電図異常

正解 : d

27. 術後せん妄のリスク因子として誤っているのはどれか。

- a 疼痛
- b 若年者
- c 認知症
- d 高度侵襲手術
- e ベンゾジアゼピン

正解 : b

28. 腎前性腎障害の原因として正しいのはどれか。

- (1) 脱水
 - (2) うっ血性心不全
 - (3) 出血性ショック
 - (4) 尿管結石の嵌頓
 - (5) 化学療法薬の副作用
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

29. シバリングの治療に用いられるのはどれか。

- (1) アトロピン
- (2) メペリジン
- (3) マグネシウム
- (4) ロクロニウム
- (5) レミフェンタニル

a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解 : c

30. 開腹術中の腸間膜牽引症候群について正しいのはどれか。

- (1) 徐脈を呈する。
- (2) 顔面蒼白を呈する。
- (3) 30 分間程度持続する。
- (4) プロスタサイクリンの放出が原因である。
- (5) アナフィラキシーショックとの鑑別が必要である。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : e

31. 開胸手術について正しいのはどれか。

- (1) 硬膜外鎮痛は術後の肺合併症予防に有用である。
- (2) 吸入麻酔薬は低酸素性肺血管収縮を減弱させる。
- (3) 一側肺換気中の 1 回換気量は 12 mL/kg が推奨される。
- (4) 左用ダブルルーメン気管支チューブは右用に比べて留置が難しい。
- (5) 分離肺換気中の低酸素血症には非換気側の CPAP が有用である。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

32. 熱傷患者について正しいのはどれか。

- (1) ケタミン麻酔は良い適応である。
- (2) 広範囲熱傷患者では体温が上昇しやすい。
- (3) 浮腫予防のため輸液量は通常より少なく設定する。
- (4) 気管の浮腫を予防するため気管チューブは頻回に交換する。
- (5) 顔面熱傷の患者では気管チューブの固定に工夫が必要である。

a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解 : b

33. PaCO₂ が一定の条件で脳血流量を上昇させる薬剤はどれか。

- a セボフルラン
- b チオペンタール
- c フェンタニル
- d プロポフォール
- e ミダゾラム

正解 : a

34. 腹腔鏡下手術における気腹の合併症はどれか。

- (1) 多尿
- (2) 気胸
- (3) 皮下気腫
- (4) 心拍出量低下
- (5) 低二酸化炭素血症

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : d

35. 腹腔鏡下手術について誤っているのはどれか。

- a 片肺挿管の危険性がある。
- b 頭低位では眼圧が上昇する。
- c 腹腔内臓器血流は増加する。
- d 気腹には二酸化炭素を用いる。
- e 開腹手術と比較して術後痛が軽度である。

正解 : c

36. 分離肺換気のための特殊なチューブやデバイスについて正しいのはどれか。

- (1) ダブルルーメンチューブには左用と右用がある。
- (2) 気管支ブロッカーは術側の脱気に時間がかかる。
- (3) 挿管困難症例ではダブルルーメンチューブが適している。
- (4) 気管支ブロッカーは術後にチューブの入れ替えが必要になる。
- (5) ダブルルーメンチューブは術側の気道分泌物や出血が多い場合に適している。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

37. 腹臥位手術の合併症でないのはどれか。

- a 上気道浮腫
- b 末梢神経の圧迫
- c 心拍出量の増加
- d 眼球圧迫による失明
- e 気管チューブの事故抜管

正解 : c

38. 妊婦における生理学的変化について正しいのはどれか。

- (1) 心拍出量が増加する。
- (2) 循環血液量が増加する。
- (3) 酸素消費量が減少する。
- (4) 機能的残気量が増加する。
- (5) 上気道浮腫が起こりやすい。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

39. 帝王切開術時の脊髄くも膜下麻酔による血圧低下とその治療について正しいのはどれか。

- (1) 輸液負荷を行う。
- (2) 子宮を左方転位させる。
- (3) 副交感神経遮断が原因である。
- (4) 昇圧薬としてアトロピンを用いる。
- (5) 妊娠子宮による下大静脈の圧迫が原因である。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

40. 早産児・新生児の麻酔・周術期管理について誤っているのはどれか。

- a 高血糖のリスクが高い。
- b 術後無呼吸のリスクが高い。
- c 術中体温低下のリスクが高い。
- d 静脈路からの空気流入に留意する。
- e パルスオキシメーターの装着部位に留意する。

正解 : a

41. 周術期の臨床工学技士の役割で誤っているのはどれか。
- a 他の医療者と緊密に連携する。
 - b チーム医療の実践を進め全人的な医療を確保する。
 - c 使用機器の不具合に対する的確かつ迅速に対応する。
 - d 生命維持管理装置の操作を医師の指示なく単独で行う。
 - e 医療スタッフに対して医療機器の使用方法などの教育を行う。

正解：d

42. 手術室の電気設備について正しいのはどれか。
- (1) 配電盤は非常用電源の色表示をつけなくてもよい。
 - (2) 非接地配線方式は全ての機械が停止することを防ぐ。
 - (3) 非接地配線方式は停電時でも電源の供給を維持する。
 - (4) 瞬時特別非常用電源は必要に応じて設けなくてはならない。
 - (5) 非接地配線方式では絶縁不良の原因を解除するとブレーカーは自動的に立ち上がる。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：a

43. 電気設備について正しいのはどれか。
- (1) 特別非常用コンセントの色は緑である。
 - (2) 心臓血管外科手術室では等電位設置を設ける。
 - (3) 等電位接地によりマイクロショックを防止できる。
 - (4) 等電位接地で定める電位差は 10 mV 以下である。
 - (5) 手術室の接地配線は片側接地配線方式と規定されている。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

44. 電気設備について正しいのはどれか。
- (1) 保護接地は 2P コンセントを使用できる。
 - (2) 非接地配線方式では絶縁トランスを用いない。
 - (3) 等電位接地システムでは患者周囲 2.5 m である。
 - (4) 等電位接地システムでは 0.1 Ω 以下の導線の中継する。
 - (5) 電気の流入出のいずれか一方が体内にあるとマクロショックという。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：d

45. 電磁妨害 EMI (electromagnetic interference) を生じないのはどれか。

- a 静電気
- b 電気メス
- c 携帯電話
- d 電源コード
- e ガス駆動ドリル

正解 : e

46. 空調設備について正しいのはどれか。

- (1) 手術室の空気の主な汚染源は医療スタッフである。
 - (2) 手術室内は同一方向に一定量の層流が適している。
 - (3) 空調は空気の気流も制御し適切清浄度を保っている。
 - (4) HEPA フィルタは 0.1 μm の粒子に対して濾過効率がある。
 - (5) バイオクリーン手術室の換気回数は 35~45 回/時間である。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

47. 空調の清浄度クラス分類で正しいのはどれか。

- (1) 清浄度クラス I は層流方式を適用して陽圧を維持する。
 - (2) 清浄度クラス II は一般手術室が含まれる。
 - (3) 清浄度クラス III には手洗い場が含まれる。
 - (4) 清浄度クラス IV には既滅菌器材の展開部屋が含まれる。
 - (5) 清浄度クラス V には消化器用の内視鏡室が含まれる。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

48. 術後悪心・嘔吐の患者側のリスク因子として正しいのはどれか。

- a 女性
- b 肥満
- c 喫煙者
- d 高齢者
- e 術前の不安

正解 : a

49. 心電図 QT 時間を延長させる危険性がある薬物はどれか。

- a デキサメタゾン
- b ドロペリドール
- c プロポフォール
- d オンダンセトロン
- e メトクロプラミド

正解 : b

50. 医薬品をセット交換方式で管理することについて正しいのはどれか。

- (1) 1 患者 1 施用毎に 1 セットを用意する。
 - (2) 使用頻度の高い医薬品をセット化する方法である。
 - (3) セット管理方式と定数管理方式は同じ意味である。
 - (4) 外観が類似する薬剤は並べて配置することが望ましい。
 - (5) 基本セットに加えて各種オプションセットを作成するのが便利である。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

51. 大量出血時の検査所見で正しいのはどれか。

- (1) 乳酸値の上昇
 - (2) 重炭酸イオンの低下
 - (3) プロトロンビン時間の延長
 - (4) 塩基過剰 (base excess) の上昇
 - (5) 観血的動脈圧波形の呼吸性変動の減少
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : a

52. 術後回復室で観察すべき患者はどれか。

- (1) 局所浸潤麻酔後
 - (2) 全身麻酔後
 - (3) 硬膜外麻酔後
 - (4) 脊髄くも膜下麻酔後
 - (5) 集中治療室に収容予定
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : d

53. 体性痛の特徴として正しいのはどれか。

- (1) 関連痛
 - (2) 鋭い痛み
 - (3) 局在が明瞭な痛み
 - (4) 体動により増悪する痛み
 - (5) 障害神経領域に一致した痛み
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : d

54. 術後痛の循環器系への影響はどれか。

- (1) 血圧上昇
 - (2) 心拍数低下
 - (3) 心収縮力低下
 - (4) 交感神経活動亢進
 - (5) 心筋酸素消費量増加
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : c

55. 疼痛評価方法として正しいのはどれか。

- (1) 共通のスケールで評価する必要がある。
 - (2) face pain scale (FPS) は小児で用いられる。
 - (3) verbal rating scale (VRS) は数字で疼痛を表現する。
 - (4) numerical rating scale (NRS) では 0 が最も強い痛みである。
 - (5) visual analogue scale (VAS) は 100 mm の線で疼痛を評価する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

56. 術後鎮痛に使用しない薬剤はどれか。

- a ロピバカイン
- b フェンタニル
- c レミフェンタニル
- d アセトアミノフェン
- e フルルビプロフェンアキセチル

正解 : c

57. 硬膜外麻酔の合併症として誤っているのはどれか。

- a 尿閉
- b 運動障害
- c 硬膜外膿瘍
- d 誤嚥性肺炎
- e 局所麻酔薬中毒

正解 : d

58. 術後呼吸器合併症と身体所見の組み合わせで正しいのはどれか。

- (1) 気胸……………呼吸音左右差
 - (2) 喉頭浮腫……………陥没呼吸
 - (3) 舌根沈下……………呼気喘鳴
 - (4) 片側反回神経麻痺……………呼吸数低下
 - (5) 横隔神経麻痺……………一回換気量低下
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

59. 術後不整脈の原因とならないのはどれか。

- a 疼痛
- b 酸素投与
- c 低カリウム血症
- d 高二酸化炭素血症
- e 代謝性アシドーシス

正解 : b

60. 回復室からの退室を許可してもよいのはどれか。

- (1) 咳ができない。
 - (2) 見当識障害がある。
 - (3) 疼痛が持続している。
 - (4) 酸素吸入が必要である。
 - (5) 軽度の悪心がみられる。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解 : e